

日本獣医生命科学大学みらい募金趣意書

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は日本獣医生命科学大学に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本獣医生命科学大学は、明治 14 年 9 月 東京小石川音羽の護国寺境内に私立獣医学校として発足してから、2031 年（令和 13 年）で創立 150 周年を迎えます。

本学では、教育理念に「愛と科学の心を有する質の高い獣医師と専門職及び研究者の育成」、学是に「敬讓相和（謙讓と協調、慈愛と人倫を育む科学の創生を説いた箴言）」を掲げ、獣医学部は病気から動物の命を守ることで人類に貢献し、応用生命科学部は命の尊厳を守りながら人類のために活用することを目指し、総合的な《生命科学の知と技》を練磨するとともに、《人間愛・動物愛》の豊かで清冽な人材の育成を目的とし、これまで約 2 万人の有為な人材を輩出してまいりました。

今般、本学では、150 周年に向けた中長期計画の重点事項として以下の課題に取り組むにあたり、「日本獣医生命科学大学みらい募金」を実施することとしました。

日本獣医生命科学大学における「質の高い獣医師と専門職及び研究者の育成」のため、皆様のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

謹白

1. 福利厚生施設の充実と学生支援の強化

コロナ禍によって停滞した学生の自治活動やクラブ活動を活性化させるために学生支援を強化する。学生会館やクラブ棟などの福利厚生施設の充実をはかる。

2. 地域および動物福祉に貢献する第二校地の有効利用

武蔵境駅近くの立地条件に恵まれた第二校地を有効に利用し、地域およびワンウエルフェアに貢献する教育と研究の拠点を創る。

3. 研究・教育拠点としての富士アニマルファームの整備

山梨県の富士ヶ嶺に位置する付属牧場（富士アニマルファーム）を地域と畜産に貢献する研究・教育拠点として整備する。

4. 多様な学生を受け入れるための大学院改革と研究支援

社会人を含む多様な学生を受け入れるための大学院改革を進める。生命科学総合研究センターにおいてワンヘルスに貢献する重点研究を設定し支援する。

5. 診療・教育施設である動物医療センターの設備整備

医療設備を整備し診療体制及び臨床教育の充実をはかる

日本獣医生命科学大学
学長 鈴木 浩 悦